

国境なき医師団 小児科医からの夏休み特別授業

講師 浦部優子さん（8月9日 小山市立生涯学習センター）

浦部医師から組合員の皆さんへのメッセージ

「教室に参加して下さった方々、ありがとうございました。大人も子どもも真剣に議論していろいろな意見を発表してくださり、私も楽しめました。参加できなかった方も、この機会にぜひ世界の人道危機や国境なき医師団について調べてみてください。日本にも社会問題はたくさんあって忘れがちですが、日本の生活環境は恵まれています。一人ひとりができることを少しずつ実践すれば、少しでも平和な世界が広がると信じています。」

富居顧問から、「前日の地震、そして今日は長崎に原爆を落とされた日であること、ウクライナ、ガザなど他人事ではないという思いで見えてきたけど、実際現地に行ってその目で子どもたちを見て抱きしめてきた人の言葉はきっと違う。よっ葉生協の会員の娘さんがこの活動をしてくれてほんとに嬉しい」との挨拶をいただき、夏休み特別授業は、はじまりました。

浦部先生から「安心して生きていくために必要なもの、欠かせないものってなに？」と問いかけると、「水」「食べ物」「家」「心臓」「お金」「睡眠」「平和」etc. たくさんの意見がでました。それが一瞬にして無くなってしまふのが、国境なき医師団が活動している地域の現状です。

国境なき医師団が大切にしている活動原則は「独立・中立・公平」。どの国の人でも、どの宗教でも、何をしている人でも、誰であろうと医療が必要であれば治療します。それをふまえて、先生から話し合いのための具体的な課題が出され、ワークショップに入りました。この授業は本来であれば、小学5.6年生が対象なのですが、よっ葉生協でやるならと特別のプログラムで作っていただきました。

子どもチームは4つにわかかれ、大人チームは、6チームにわかれて頂きました。初めて会った子どもたちが話し合い出来るように異年齢であらかじめチーム編成をしましたので、年長者が話し合いの中心となりみんなの意見をまとめました。心配していた大人チームですが、どこのチームも皆さん積極的に時間ぎりぎりまで、話し合っていました。悩みながらまとめた結果発表では、それぞれのグループがほんと



「ワークショップに取り組んでいます」



「結果発表（大人）」

によく悩み話し合ったことがよくわかりました。このように国境なき医師団の医師たちが、日々悩み決断し活動しているのが、ワークショップで理解できました。その後、国境なき医師団の活動を、スライドを使いながら、説明していただきました。活動資金は「独立

・中立・公平」を守るために、97.1%（2022年実績）が民間からの寄付で賄われていること、日本からの派遣は89人、派遣国数は26カ国（2022年実績）など。浦部先生が国境なき医師団に入ろうと思ったきっかけは、国民のほとんどがイスラム教徒であるイエメンの小児科病棟では、肺炎や下痢、けが、やけど、栄養失調が多く、機器や検査、薬には限りがあり亡くなる赤ちゃんも多いことでした。今は診察だけではなく医師団が帰ってからも医療ができるように、現地の医療スタッフのトレーニングや研修などもしていること。宿舎では、食堂、個室、ジム、居間、屋上があり、専属コックがいて食事は美味しく、休日は危ないので外には出られないが、屋上でバーベキュー、映画やテレビを見たり、音楽を聴いたり、ギターを演奏したりしていたこと。また、食事や洗濯や掃除をするスタッフなど現地の雇用も医療だけではない大きな支援になっていることなどを知ることができました。

最後に、国境なき医師団に参加する方法は、1、活動を伝える（今日聞いた話を周りの人に話してほしい）。2、寄付・募金で活動を支える。3、一緒に働く（医者だけではなく、様々な職種があり、また海外に行かなくても日本での広報活動などもできる）。があることを教えていただき夏休み特別授業が終わりました。

終わってからの質疑応答では、「おなかをこわしたことがありますか？」「初めての病気の時にどうしますか？」「一人の子を助けるのにいくらかかる？」「利権がらみの心配は？」など多くの質問にわかりやすく答えていただきました。

委員会よりお願いしたいこと。皆さん一人一人が、まずは自分のいのちを大切にしてください。そして世界や日本で起きていることを知ることが大事です。そこから自分ができることを考えていただけたらと思います。

ミモザいのちと食の委員会 田嶋

※当日集めさせていただいた募金14,623円は全額を国境なき医師団に寄付いたします。



(表紙から続きます) 国境なき医師団 夏休み特別授業参加者のみなさんから

子ども達の感想 (アンケートより抜粋)

- ・命の大切さについて考えられました。
- ・世界の人たちが不公平にいらしていることがわかった。
- ・自分にできる事を一つでも実せんしたい。
- ・すごい自分の夢がふえた。
- ・ゆうこ先生みたいな人になりたいと思った。

大人達のワークショップの感想 (アンケートより抜粋)

- ・子ども達の意見が聞けたし、大人の意見も聞いてもらうことができて良かった
- ・答えのない議論をすることが新鮮だった
- ・子どもの視点での結論をなるほどと思った

「結果発表 (子ども)」→

「ワークショップに取り組んでいます。」



1945年7月12日23時10分宇都宮空襲 今も爪跡が残っています

79年前の7月12日深夜、B29爆撃機115機が来襲し、宇都宮市中心部を2時間20分にわたり爆撃しました。本土空襲は同年3月10日の東京大空襲後に本格的になり、中都市が標的となって宇都宮もその一つでした。この宇都宮空襲で、宇都宮市立中央小学校を中心に半径1.2km圏が焼け野原になり、620人以上もの命が失われました。負傷した人々は1128名、罹災戸数は9173戸を超え、宇都宮市以外にも被害が出ました。

B29はサイパン島に近いテニアン島から飛来し、宇都宮市街地を西から東に焼夷弾を落としました。なぜ夜中に来襲したのでしょうか？この頃の空襲は日本軍の地上からの高射砲を警戒して、夜間に行われました。都市を壊滅させて、日本の戦意をそぐことが目的でした。

使われた焼夷弾は、M47型 10,500個、M69小型焼夷弾が83,752個(ゼリー状の油脂を内包したナパーム弾。木や紙が主体の当時の日本の住宅が燃えやすいように開発されたもの)でした。

宇都宮市内では、今でも空襲の跡を見ることができます。宇都宮シティガイド協会の藤長さんに案内してもらいました。

①松が峰協会

1932年建造の大谷石造りの双塔を持つ教会。屋根と礼拝堂内部の畳が焼け落ち、礼拝堂内の壁に黒い焼け跡が残っています。



「大いちょう」

②大いちょう (旭町)

空襲で黒焦げになりましたが翌年芽を出しました。交差点の角にあって、樹高33mを越えて今も見事な黄葉を見せています。

③二荒山神社の防空壕 (馬場通)

神社東側の崖に当時のまま残され

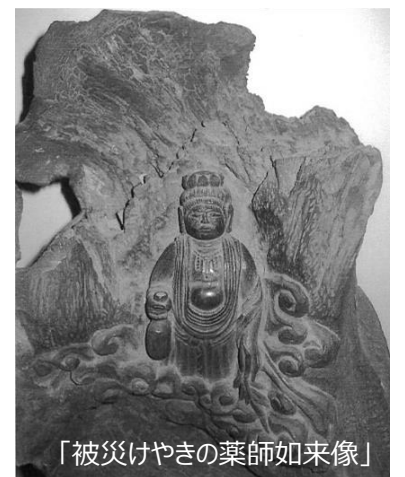
ています。中は3方向に分かれていました。市中で現存する防空壕は大変貴重です。



④浄鏡寺 (埜田)

当時中央町にあった市役所構

内に、樹齢千年以上の大けやきがありました。空襲で焼け焦げ、再生も見込めなかったため資材として市民に払い下げられました。焼け残ったけやきの一部に、市内の仏師高田松次郎氏が薬師如来像を彫り出し、浄鏡寺に大事に安置されています。当時の多くの市民の心を癒したことでしょう。



「被災けやきの薬師如来像」

ご住職の娘さんにお話を伺うことができました。

「当時2歳でした。防空壕に逃げて無事でしたが、防空壕から見た市内の真っ赤な光景を見てから、当時の私は声を発することができなくなったと聞いています」

⑤清巖寺 (大通り5丁目)

宇都宮市立東小学校の南方にあるお寺。直接の戦災は逃れたものの、広い敷地内にご遺体ならべられたそうです。お寺の地藏尊は戦時の金属供出で無くなり、大谷石の台座だけ残されていましたが平成7年に復元建立されました。

戦争や原爆でどんなに苦しかったか、生き残っても家族や友人、隣人を失ってどれほど辛い人生を強いられてきたか……。今に伝えられている戦争の跡を見、体験した方々からのお話を聞いて私たちにできることは、とにかく想像して知っていくこと。ウクライナで、ガザで、パレスチナで多くの市民や子どもたちが命を脅かされています。決して過去の出来事ではありません。全てはご紹介できませんでしたが、機会があれば訪れてみて下さい。

(理事 三輪)

よつ葉文庫では、宇都宮空襲、伊勢崎空襲の体験を描いた本を貸し出ししています。

No1294 戦後77年 戦争を体験した方のメッセージ
群馬県生活協同組合連合会

No1303 子どものころの戦争の記憶 真珠湾攻撃から敗戦玉音
放送まで (絵本) 越川栄子

参加してみませんか

<お問合せ よつ葉生協 組合員組織部 TEL 0120-07-1613>

地産地消～守ろうふるさと のこそう緑の大地～ 塩谷農業体験②「稲刈りをしよう！」

産直米でお馴染みの「塩谷町・和氣ファーム」さんの田んぼで稲刈りをします。鎌を使って一株ずつ刈り取ります。6月に田植えをした苗は、今年はどれくらい稲穂が実っているのかな？当日は和氣さん手作りのお赤飯と新米のおみやげがあります♪

日 時：10月5日（土）10：00～12：00（受付9：45～）
会 場：和氣ファーム（栃木県塩谷郡塩谷町大字泉342）

参加費：組合員 大人 500円 子ども（小学生）200円
一般 大人 600円 子ども（小学生）200円

定 員：なし

託 児：なし

締切日：9月20日（金）

主 催：よつ葉生協



那須塩原

発酵チキンカレー教室

発酵調味料とスパイスをふんだんに使った発酵チキンカレーです。ルーも必要なく身近な材料で簡単に作れます。小麦粉不使用。辛みを足すこともできるのでお子さんから大人まで楽しめます！

日 時：9月30日（月）10：00～13：00（受付9：45～）

会 場：稲村公民館（栃木県那須塩原市若草町117-1）

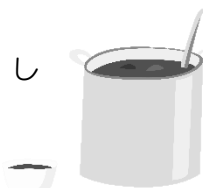
参加費：組合員 大人 2000円

一般 大人 2200円

定 員：12人 託 児：なし

締切日：9月20日（金）

主 催：那須塩原委員会



筑西

よつ葉の広場～話・輪・WA～ in 筑西

食育応援団の松下さんを招いてよつ葉商品と市販品の違いを食べ比べします。新商品を中心に、お菓子や飲み物をご用意します。組合員でない方、お友達やお子さんもご一緒にどうぞ♪

日 時：10月3日（木）10：00～12：00（受付9：45～）

会 場：道の駅グランテラス筑西 多目的室

（茨城県筑西市川澄1850）

参加費：無 料 託 児：なし

お子様連れ大歓迎！

締切日：9月20日（金）

主 催：よつ葉生協



「参加してみませんか」申し込み後のご案内はメールになります

ご参加が決定した方へのお知らせは、郵便料金の値上げ等の事情によりメールでのご案内に変更します。それに伴い、以下ドメインのメールを受信できるように設定をお願いします。ただし、お電話で申し込まれた方へのご案内はこれまで通り郵送します。

event@yotsuba-coop.jp（迷惑メール設定解除、もしくは受信設定）

よつ葉文庫 新登録

NO.1318 「雷のままに散りゆけり 一対馬丸から生還した教師の魂を娘が辿る」 上野かずこ 悠人書院

栃木市在住の上野さんが、1944年8月に起きた米軍潜水艦の魚雷攻撃を受けて沈没し1484名が亡くなった事件で、生き残った母美津子さんが残した言葉をまとめて出版しました。戦争体験をされた方が高齢になり、また亡くなって、事実が忘れ去られようとしています。体験者は終戦後語ることができず、重い口をようやく開き言葉にしています。

対馬丸は商業船でしたが軍の艦船として登録されていたので、沈没は軍事機密として公表は禁じられていたそうです。沖縄から九州に疎開する学童や大人1700余名を乗せ、対馬丸は攻撃されて11分で沈没し、生き残った人々は数日間漂流して、救助された人々には厳重な箝口令が敷かれ、対馬丸沈没はなかったこととされようとしてきました。生き残った人々に対し「なぜお前だけが生きて帰ったか」、そして「自分だけが生き残って」と、生存者は口を閉じたまま生きていくことになったのです。

沖縄出身の両親が何故栃木で暮らすようになったか。対馬丸事件がなかったら、生まれた沖縄で一生涯送れたにちがいない。終戦間際や終戦直後に国籍が定かではない魚雷で沈没された船の詳細はわからないことが多く、北海道の留萌沖で樺太からの引き揚げ者が犠牲になったことも詳しくは語られていない。私たちが知らないことだらけで、「知らないまま」となかったことにしたいのが、戦争の世論のつくり方と言えるでしょう。

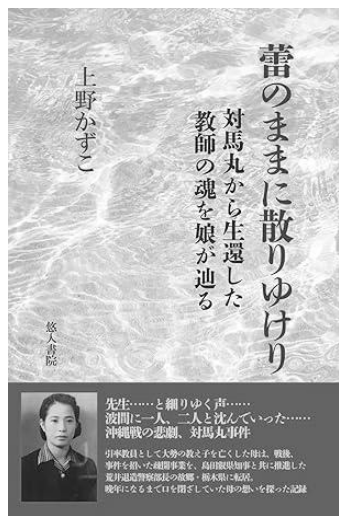
NO.1319 「生協の歴史から戦争と平和を学ぶ 改訂新版」 齋藤嘉璋 公益財団法人 生協総合研究所

食材を1週間に一度、班あるいは個人に届けてくれるのが生協の仕事と思っている方も多くですし、それが現実の姿でもあります。地震や台風などの自然災害で届けられないこともあります。安定してお届けができるようになりました。生協の歴史は、世の中の動きや流れの中で自由に活動できなかったことが多く、また事業的継続ができず倒産した生協も数多くありました。封建的社会制度、戦争による犠牲と混乱の長期化は生協のみの問題ではなく、世界でも日本でも全ての人々の命が危険にさらされていました。

人々の為に生協を立ちあげてくれた先達のおかげで今、私たちが自由に生協を利用することができています。

戦争体験の中から「平和とより良い生活のために」は、21世紀の今も繰り返されている戦争に対しても叫び続けられなければなりません。

（顧問 富居）



第3回 定例理事会報告 8月7日(水)

《報告・協議事項》

(1) 経理規則改訂について

経理規則については平成9年(1997年)より、見直し等を行なっていなかった経緯を踏まえ、経理規則改訂(案)として提案がなされ承認されました。

(2) ふれあいまつり実行委員について

2024年11月23日開催予定の「ふれあいまつり」の実行委員選出について提案がなされ、5名の理事が立候補し、承認されました。第1回ふれあいまつり実行委員会は、8月26日(月)に開催されます。

(3) 8月度 組合員活動会議報告

① 委員会サポートチームより、委員会用書類(案)の説明を行いました。

② 本部活動について

- ・よつ葉の広場～話・輪・WAの予定
- ・アップルファームさみず産地訪問(9月29日(日))

③ その他(理事で共有)

●7月度事業実績

組合員数	27,331名(7月20日現在 前年比100.9%)
	加入152名 脱会88名
供給高	382,977千円(前年比97.7%)
	2024年4月～累計1,527,932千円(前年比101.7%)

文化イベント情報

■各イベントのお問い合わせは、直接主催者または連絡先にお願いいたします。

小山 「子育てママの集まり」

- 日時 9月30日/10月28日/11月25日/12月16日/2025年1月27日/2月17日/3月24日(各月曜日) 10:00~11:30
 - 会場 小山友の家(栃木県小山市駅東通り2-1-11)
 - 参加費 300円(保険、軽食代)
 - 内容 生活ワンポイント(子どもと楽しく暮らせるヒントがいっぱい) ランチタイム(親子いっしょごはんで大満足!)、フリータイム
 - 申込み QRコードから
 - 問合せ 小山友の会 TEL/FAX 0285-23-0094 Mail oyamatomonokai@gmail.com
- 『遊び場』毎週月曜日10:00~12:00 無料—
お食事の持ち込みOKです。第2月曜日はお茶とクッキータイム親子で遊びに来ませんか? 雨の日もOK!



昭和56年5月以前に建てられた住宅にお住まいの皆様へ

今年度から!全市町で!

耐震診断が無料でできます!

1 市町窓口へ申込み

申し込みは簡単まる♪

2 耐震診断決定通知

3 耐震診断の実施

4 耐震診断結果の説明



今年度から全市町で耐震診断が無料に! 相談窓口は右のQRコードをチェック!



相談窓口はお住まいの市町となります。

問合せ 栃木県県土整備部建築課 耐震推進担当 TEL:028-623-2395

「よつ葉生協は、栃木県生協連と栃木県との包括連携協定に基づき、県の広報に協力しています」

組合員さんの声



よつ葉だよりをきっかけにラップを見直しました。大手メーカーのラップは七かれ味の良さが魅力で購入していましたが添加物が入っていたなんて気にしたことがありませんでした。よつ葉で購入したラップは思った以上に七かれ味が良く使いやすかったです。よつ葉だより、今後も楽しみにしております。(宇都宮地区 H・Fさん)

よつ葉太陽光発電報告

○5月24日から6月23日(31日間)の太陽光発電量は、6,444 kWhでした。CO2削減量は2,027kg(18Lの灯油缶を85本燃焼した量)です。

○6月24日から7月23日(30日間)の太陽光発電量は、5,390 kWhでした。CO2削減量は1,695kg(18Lの灯油缶を71本燃焼した量)です。

ご意見・ご感想をお寄せください。お名前と組合員番号をご記入の上、共同購入注文書またはお手紙でお願いします。掲載の方には粗品をプレゼントいたします。※掲載するにあたって事前にご連絡をすることはありませんので、ご了承ください。

東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告(8月3週分)

ご協力ありがとうございます。組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています(単位:円)

放射能から子どもを守る募金(900番)	5,200
震災孤児を支援する募金(910番)	17,600
「有機農業と国産種子」募金(920番)	6,100
合計	28,900

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。WEB注文の場合は、左側【企画商品・募金】内の【募金関連】をクリック。一口100円の募金になります。

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮1223

☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <https://yotsubacoop.jp/>

よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yotsuba-coop.jp



ホームページ



Facebook



Instagram